

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和6年10月22日(2024.10.22)

【公開番号】特開2023-79936(P2023-79936A)  
 【公開日】令和5年6月8日(2023.6.8)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-106  
 【出願番号】特願2021-193658(P2021-193658)  
 【国際特許分類】  
 A 6 1 B 3/103(2006.01)  
 【FI】  
 A 6 1 B 3/103

10

【手続補正書】  
 【提出日】令和6年10月11日(2024.10.11)

【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼検査装置であって、  
 被検眼の眼屈折力をフォトレフラクション方式とは異なる方式で他覚的に測定する第1他覚式測定手段と、  
 前記被検眼の眼屈折力を前記フォトレフラクション方式で他覚的に測定する第2他覚式測定手段と、  
 前記第1他覚式測定手段及び前記第2他覚式測定手段の少なくともいずれかを制御して、眼屈折力を取得する制御手段と、  
 を備えることを特徴とする眼検査装置。

30

【請求項2】

請求項1の眼検査装置において、  
 前記第1他覚式測定手段は、前記被検眼の片眼に対して、眼底に測定光束を投影することにより、眼屈折力を前記フォトレフラクション方式とは異なる方式で測定し、  
 前記第2他覚式測定手段は、前記被検眼の両眼に対して、眼底に測定光束を投影することにより、眼屈折力を前記フォトレフラクション方式で測定する、  
 ことを特徴とする眼検査装置。

【請求項3】

請求項1または2の眼検査装置において、  
 前記第1他覚式測定手段は、前記被検眼の眼底に測定光束を投影し、前記眼底により前記測定光束が反射された反射光束を第1検出器にて受光する他覚式測定手段であって、前記被検眼の眼底共役位置に前記第1検出器が配置され、  
 前記第2他覚式測定手段は、前記被検眼の眼底に測定光束を投影し、前記眼底により前記測定光束が反射された反射光束を第2検出器にて受光する他覚式測定手段であって、前記被検眼の瞳共役位置に前記第2検出器が配置される、  
 ことを特徴とする眼検査装置。

40

【請求項4】

請求項1～3のいずれかの眼検査装置において、  
前記被検眼を撮影して、前記被検眼と前記第1他覚式測定手段との位置関係を調整するための第1アライメント手段と、

50

前記第1アライメント手段よりも前記被検眼を広角に撮影して、前記被検眼と前記第2他覚式測定手段との位置関係を調整するための第2アライメント手段と、  
を備えることを特徴とする眼検査装置。

【請求項5】

請求項1～4のいずれかの眼検査装置において、  
前記制御手段は、前記被検眼の眼屈折力を測定する測定モードの切換信号に基づいて、前記第1他覚式測定手段を用いる第1測定モードと、前記第2他覚式測定手段を用いる第2測定モードと、のいずれかを設定することを特徴とする眼検査装置。

【請求項6】

被検眼の眼屈折力をフォトレフラクション方式とは異なる方式で他覚的に測定する第1他覚式測定手段と、

10

前記被検眼の眼屈折力を前記フォトレフラクション方式で他覚的に測定する第2他覚式測定手段と、

を備える眼検査装置にて用いる眼検査プログラムであって、

前記眼検査装置のプロセッサに実行されることで、

前記第1他覚式測定手段及び前記第2他覚式測定手段の少なくともいずれかを制御して、眼屈折力を取得する制御ステップと、

を前記眼検査装置に実行させることを特徴とする眼検査プログラム。

20

30

40

50